

Così fan tutte

指揮 茂木 大輔

構成演出・台本 水野 明人

CAST

フィオルディリージ 川口 聖加

ドラベツラ 織田 麻美

フェルランド 野中 裕太

グリエルモ 奥村 泰憲

ドン・アルフォンソ 榎崎 まさひろ

デスピーナ 三宅 初音

合唱 OTY シンガーズ

演奏 ハイリゲンシュタット・フィルハーモニー管弦楽団

2024年 4/21(sun) 開場 12:30
開演 13:00
彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
(JR 埼京線与野本町駅より徒歩7分)
全席自由 1800円

W.A. モーツァルト

コジ・ファン・トゥツテ

(演奏会形式・イタリア語歌唱(日本語のセリフ劇付き))

【お問合せ】 彩の国さいたま芸術劇場
TEL: 048-858-5500(休館日を除く 9:00~19:00)

ハイリゲンシュタット・フィルハーモニー管弦楽団
TEL: 090-4372-5784

(※窓口販売のみ。ご来館前に残席状況をお問い合わせください。) Mail: bach_horn_chizuko@yahoo.co.jp (小出)



チケットぴあ (Pコード:264882)

<http://ticket.pia.jp/pia/event.ds?eventCd=2406865>



指揮 茂木 大輔



ミュンヘン国立音大大学院修了(オーボエ専攻)、1986年からシユトットガルト・フィルハーモニー管弦楽団の第1オーボエ奏者を経て、1990年から30年に渡りNHK交響楽団首席オーボエ奏者を務めた。2018年、その功績によりN響より「有馬賞」受賞。1996年からは指揮活動を開始。オーケストラの楽器やパッサの教会音楽、ベートーヴェンのシンフォニーなどの解説コンサートで全国的に活躍。二ノ宮知子「のだめカンタービレ」原作・映像でクラシック音楽監修を務め、「生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会」を全国展開。2019年3月にN響を定年退職、専業の指揮者としての活動を開始した。

上記の活動を通じて現在までに仙台フィル、アンサンブル金沢、東京フィル、群馬交響楽団、京都市響、日本センチュリー交響楽団、兵庫PAC、広島交響楽団、九州交響楽団、琉球交響楽団など多数の団体を指揮している。N響在団中の2009年より、4年間にわたって東京音楽大学および大学院にて指揮を学ぶ。指揮を故岩城宏之、故外山雄三、広上淳一の各氏に師事。現在東京音楽大学指揮科助教。

執筆でも知られ、「交響録・N響で出会った名指揮者たち」(音楽之友社)など多数の著書がある。

構成演出・台本

水野 明人



東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。オペラ演出のほか、オペラ字幕や演奏会向けの台本・構成等で数多くの公演に携わり、これまでに、日本フィルハーモニー交響楽団「日本フィル エデュケーションプログラム 小学生からのクラシックコンサートシリーズ」台本・構成、ミュージックシアターtuttiY 第2期本公演オペラ《子供と魔法》/《ジャンニ・スキッキ》演出、国立音楽大学コレベティートルコース修了公演 オペラ《ドン・ジョヴァンニ》、《愛の妙薬》等の演出を務めるほか、パッサ・コレグウム・ジャパン「調布国際音楽祭」、ザ・シンフォニーホール「カウントダウン/ニューイヤークンサート」等の演奏会向け字幕を手掛ける。

フィオルディリージ(ソプラノ)

川口 聖加



新潟大学および同大学院にて声楽を専攻した後、オランダ王立音楽院のソプラノ声楽科にて学び、演奏家ディプロマを取得し卒業。フランス・ドイツ歌曲を中心に、バロック声楽曲、宗教曲、現代曲まで幅広いレパートリーを持ち、国内外で演奏活動を行っている。J.S.バッハ、ハイドン、フォーレ等のオラトリオや、パーセル、モーツァルト、ラヴェル等、多数のオペラに出演。オペラ団体Music Theater Group tuttiY(ミュージックシアターグループ・トゥッティイ)代表。OTYシンガーズ主宰。混声合唱団アルクス指揮者。ナール音楽企画代表。CD「リラの花咲くころ」、「タケミツ・ソングス」をリリース。

ドラベッラ(メゾソプラノ)

織田 麻美



東邦音楽大学卒業。在学中に大学声楽部会主催オペラ《ヘンゼルとグレーテル》にヘンゼル役で出演。これまでにオペラでは《カルメン》タイトルロール、《蝶々夫人》スズキ、《トロヴァトーレ》アズチーナ、《アイダ》アムネリス、《仮面舞踏会》ウルリカ、《椿姫》アンニーナ、《リゴレット》マツダレーナ、《ファルスタッフ》クイックリー夫人、《オテッロ》エミーリア、《コジファントゥッテ》ドラベッラ、《メリーウィドウ》ハンナ役他多数の公演に出演。また、2004年に(株)ナムコより発売されたゲームソフト「エースコンバット5」にコーラスとして参加。現在、藤原歌劇団準団員、日本オペラ協会準会員。町田イタリア歌劇団所属。

フェルランド(テノール)

野中 裕太



山梨県南アルプス市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業時に同声会賞および佐々木成子賞受賞。同声会新人演奏会に出演。現在同大学院音楽研究科声楽専攻修士3年次に在籍。2023年度「東京藝術大学音楽堂モーニング・コンサート」に成績優秀者として出演し、ソリストとして角田彌亮氏指揮、藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演し、B.Britten作曲「Les illuminations Op.18」を演奏する。また、これまでに「藝大第九」「中央区第九」など第九ソリストとしても活躍している。これまでに声楽を、川口聖加、小山由美、菅英三子の各氏に師事。

グリエルモ(バリトン)

奥村 泰憲



広島少年合唱隊出身。エリザベト音楽大学宗教学科卒業、同大学院修了後、セルビアとルーマニアに短期留学。2005年よりウィーン国立音楽大学声楽科、ライナー音楽院指揮科・オペラ科で研鑽を積む。2006年ウィーンでグルック《トリーアのイフェジュニア》トアス王を歌いオペラデビュー。フランス、デンマーク、マケドニア、オーストリア、ドイツで独唱会。「クリスマスオラトリオ」「天地創造」「カルミナブラーナ」などソリストを多数務めオペラでは《魔笛》ラ・ボエーム《カルメン》《道化師》など50の役を演ずる。シェーンベルク合唱団、BCJの公演や録音に参加。現在13団体の指導を務める。東京大学音楽部講師。

ドン・アルフォンソ(バス)

檜崎 まさひろ



東京芸術大学音楽学部声楽科 2003年卒。卒業後、ザルツブルグ、ウィーンに留学。2004、2005年ザルツブルグモーツァルトテウム音楽院サマーアカデミー成績優秀者。帰国までウィーンを拠点に声楽家としてヨーロッパ(ドイツ語圏)で7年間500回以上のステージ経験を積む。

オーストリア、ドイツ、日本で歌曲ソロコンサート開催。オーストリア各地の教会でバッハカンタータ、モーツァルト「レクイエム」、現代作曲家のバスソロ作品を多数演奏。オペラでは、モーツァルト作品に多く出演。《ドン・ジョヴァンニ》タイトルロール、《フィガロの結婚》フィガロ、《魔笛》弁者、ババゲーノ、《コジ・ファン》グリエルモ)

2013年から日本国内でオペラ、歌曲、宗教曲、現代曲、子供の歌のソロを歌う傍ら、声楽レッスン、少人数アンサンブル、合唱指導にも情熱を注いでいる。

デスピーナ(ソプラノ)

三宅 初音



山梨県甲府市出身。山梨大学教育人間科学部芸術身体教育コース、同大学院教育学研究科芸術文化コースにて声楽を専攻し卒業。声楽を川口聖加、小山由美、片野耕喜の各自に師事。また、マリン・ファン・ニューケルケン、テア・ファン・デア・ブテン、エリー・アーメンリッダ、新垣有希子、隠岐彩夏、各氏のレッスンやマスタークラスを受講。これまでにJ.シュトラウス《こうもり》アデーレ、M.ラヴェル《子供と魔法》火役などで出演。オペラ以外にも歌曲の演奏も積極的にに行い、現在も演奏会に出演し研鑽を積む。